

令和5年度 教科シラバス

教科	国語	科目	現代の国語
単位数	2単位	レポート	6回
教科書	新編現代の国語（大修館書店）	副教材	教科書準拠新編現代の国語学習ノート（大修館書店） 新実用国語の演習（中部日本教育文化会）

学習目標

国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、他者とのかかわりの中で伝え合う力を高めるとともに思考力や想像力を伸ばすことで心情を豊かにし、言語感覚を磨くことで実社会の充実を図る。

学習内容

前期（4～9月）	後期（10～2月）
(1)ことばをひらく ・言葉の使い分け、言葉の学び ・「変わる」ことを楽しもう ・「コミュニケーションは技術だ」 (レポート①)	(5)説得力を高める ・意見文の基礎、反対意見を想定した意見文 ・「手間の価値」 ・「人工知能が教えてくれるもの」 (レポート⑤)
(2)わかりやすく説明する ・様々な説明の仕方 (レポート②)	(6)社会に目を向けて ・「何のために「働く」のか」 ・「自分の考えをつくるために」 ・企画書の実例 ・プレゼンテーションの方法 (レポート⑥)
(3)論理を読み取る ・「オカビの胃袋はいくつか」 ・「水の東西」 (レポート③)	後期考查範囲
(4)情報と向き合う ・「情報の力関係」 ・「どこもかしこもプラスチック」 (レポート④)	
前期考查範囲	

学習方法

キャリア週4日登校型	キャリア週1日登校型
副教材を活用して問題演習を行いながら内容を理解していく。文章を読んだり、意見を書いたり、表現したりと様々な活動を行う。	副教材を活用して問題演習を行いながら内容を理解していく。文章を読んだり、意見を書いたり、表現したりと様々な活動を行う。

評価方法

キャリア週4日登校型	キャリア週1日登校型
・授業態度（出席率等も含む） ・発問評価 ・レポート評価 ・定期考查（4回）	・授業態度（出席率等も含む） ・発問評価 ・レポート評価 ・定期考查（2回）

評価の観点

a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に取り組む態度
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、その特質を理解し、適切に使うことができ、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者とのかかわりの中で、論理的に考える力や深く共感する力、伝え合う力を高め、自身の思いや考えを広げたり、深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ事故を向上させ、我が国の言語文化の担い手として自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

令和5年度 教科シラバス

教科	国語	科目	言語文化
単位数	2単位	レポート	6回
教科書	新編言語文化（大修館書店）	副教材	教科書準拠新編言語文化学習ノート（大修館書店） イラストでつかむ古文の基礎（中部日本教育文化会）

学習目標

国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、他者とのかかわりの中で伝え合う力、言葉による見方・考え方に対する意識を高めるとともに思考力や想像力を伸ばすことで心情を豊かにし、言語感覚を磨くことで実社会の充実を図る。

学習内容

前期（4～9月）	後期（10～2月）
(1)ことばと出会う・表現を味わう ・「言葉の森を育てよう」 ・「水かまきり」 (レポート①)	(4)文化を見つめる・物語を受け継ぐ ・『足し算の文化』 ・『羅生門』 (レポート④)
(2)古文に親しむ ・古文への招待 「児のそら寝」(『宇治拾遺物語』) 「十二の「子」文字」(『宇治拾遺物語』) (レポート②)	(5)随筆を楽しむ・古人に学ぶ ・「春はあけぼの」(『枕草子』) ・「学問のすすめ／社会に生きる」(『論語』) (レポート⑤)
(3)漢文に親しむ・現代に生きることば ・訓読のきまり、格言 ・「五十歩百歩」(『孟子』) (レポート③)	(6)ことばと生きる・詩歌の調べ・旅への思い ・「祖母が笑うということ」 ・「春夏秋冬のうた」、「詩歌を楽しむ」 ・「旅立ち」(『奥の細道』) (レポート⑥)
前期考査範囲	後期考査範囲

学習方法

キャリア週4日登校型	キャリア週1日登校型
副教材を活用して問題演習を行い、内容を理解する。現代文、古文、漢文の様々な文章を学習する。	副教材を活用して問題演習を行い、内容を理解する。現代文、古文、漢文の様々な文章を学習する。

評価方法

キャリア週4日登校型	キャリア週1日登校型
・行動観察・授業態度（出席率等も含む） ・発問評価 ・レポート評価 ・定期考査（4回）	・行動観察・授業態度（出席率等も含む） ・レポート評価 ・定期考査（2回）

評価の観点

a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に取り組む態度
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深める。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに創造したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。

令和4年度 教科シラバス

教科	地理・歴史	科目	地理総合
単位数	デ：2単位 3：単位	レポート	デ：6回 キヤ：9回
教科書	高等学校地理総合 世界を学び、地域をつくる (第一学習社)	副教材	学習事項の整理と作業 地理総合ノート (第一学習社)

学習目標

<p>社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p>

学習内容

前期（4～9月）	後期（10～2月）
<p>第Ⅰ編 地図や地理情報システムと現代世界 第1節 球面上の世界と地図 第2節 国家の結びつきとグローバル化する世界 (レポート①②)</p> <p>第Ⅱ編 国際理解と国際協力 第1章 生活・文化の多様性と国際理解 (レポート③) 第1節 持続可能な社会を目指して 第2節 すべての人々の尊厳と平等が守られた社会に向けて</p>	<p>第3節 自然と調和した豊かな社会に向けて 第4節 現役世代と将来の世代のための地球 第5節 平和で公正な社会に向けて (レポート④⑤⑥⑦⑧)</p> <p>第Ⅲ編 持続可能な地域づくりと私たち 第1章 自然環境と防災 第2章 生活圏の調査と地域の展望 (レポート⑨)</p>

学習方法

デザイン・アート	キャリア週4日登校型	キャリア週1日登校型
<p>授業プリントを利用し、生徒に考えさせながら学習を進める。 1時間あたり教科書2ページのペースで進める。 問題演習を行う。</p>	<p>授業プリントを利用し、生徒に考えさせながら学習を進める。 1時間あたりレポートの範囲を進める。</p>	<p>授業プリントを利用し、生徒に考えさせながら学習を進める。 1時間あたり、レポートの範囲を進める。</p>

評価方法

デザイン・アート	キャリア週4日登校型	キャリア週1日登校型
<ul style="list-style-type: none"> 授業態度（出席率等も含む） レポート評価 定期考査（4回） 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度（出席率等も含む） レポート評価 定期考査（4回） 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度（出席率等も含む） レポート評価 定期考査（2回）

評価の観点

a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に取り組む態度
<p>地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解しているとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。</p>	<p>地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。</p>	<p>地理に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>

令和5年度 教科シラバス

教科	数学	科目	数学 I
単位数	3 単位	レポート	12 回
教科書	新数学 I (東京書籍)	副教材	ニューファースト新数学 I (東京書籍)

学習目標

数と式、2次関数及び三角比について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

学習内容

前期 (4～9月)	後期 (10～2月)
1章 数と式 (レポート①～④) 1節 文字と式 3節 方程式と不等式 2章 2次関数 (レポート⑤～⑥) 1節 2次関数とそのグラフ	2章 2次関数 (レポート⑦～⑧) 2節 2次関数の値の変化 3章 三角比 (レポート⑨～⑫) 1節 鋭角の三角比 2節 三角比の応用
定期考查範囲 (1日登校型は期末のみ①～⑥) 前期中間 ①～③ 前期期末 ④～⑥	定期考查範囲 (1日登校型は期末のみ⑦～⑫) 前期中間 ⑦～⑨ 前期期末 ⑩～⑫

学習方法

デザイン・アート	キャリア週4日登校型	キャリア週1日登校型
別記	授業1回につき教科書2ページ進む。基礎的な計算技能の習熟を図る。	授業1回につきレポート1回分進む。自学自習の支援となるよう個別対応する。

評価方法

デザイン・アート	キャリア週4日登校型	キャリア週1日登校型
別記	・出席、態度、副教材 ・レポート①～⑫ ・定期考查(4回)	・出席、態度、副教材 ・レポート①～⑫ ・定期考查(2回)

評価の観点

a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に取り組む態度
・数学の基本的な概念や原理を理解する。 ・事象を数学的に解釈したり表現したりする技能を身に付ける。	・数学を活用して事象を論理的、統合的に考察する。 ・数学的な表現を用いて事象を簡潔、的確に表現する。	・数学のよさを認識し積極的に数学を活用する。 ・問題解決の過程を振り返り考察を深め改善する。

令和5年度 教科シラバス

教科	理科	科目	科学と人間生活
単位数	2単位	レポート	6回
教科書	高等学校 改訂 科学と人間生活 (第一学習社)	副教材	改訂ネオパルノート科学と人間 生活 (第一学習社)

学習目標

<p>自然と人間生活とのかかわり，および科学技術が人間生活に果たしてきた役割について，科学的な見方や考え方を養うとともに，科学に対する興味・関心を高める。</p> <p>科学技術の発展が，今日の人間生活に対してどのように貢献してきたかについて理解させる。</p> <p>自然と人間生活とのかかわり，および科学技術が人間生活に果たしてきた役割についての学習を踏まえて，これからの科学と人間生活とのかかわり方について考察させる。</p>

学習内容

前期 (4～9月)	後期 (10～2月)
<p>第Ⅰ章 物質の科学</p> <p>第2節 衣料と食品 (レポート①②) (前期中間考査)</p> <p>第Ⅲ章 熱や光の科学</p> <p>第2節 光の性質とその利用 (レポート③) (前期期末考査) (前期考査)</p>	<p>第Ⅱ章 生命の科学</p> <p>第1節 ヒトの生命現象 (レポート④⑤) (後期中間考査)</p> <p>第Ⅳ章 地球や宇宙の科学</p> <p>第2節 太陽と地球 (レポート⑥) (後期期末考査) (後期考査)</p>

学習方法

デザイン・アート	キャリア週4日登校型	キャリア週1日登校型
副教材の学習のまとめを利用し、生徒に考えさせながら学習を進める。 1時間あたり副教材2ページのペースで進める。	副教材の学習のまとめを利用し、生徒に考えさせながら学習を進める。 1時間あたり副教材2ページのペースで進める。	副教材の学習のまとめを利用し、学習を進める。 1時間あたり、レポートの範囲を進める。

評価方法

デザイン・アート	キャリア週4日登校型	キャリア週1日登校型
<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 (出席率等も含む) 発問評価 (小テスト) レポート評価 定期考査 (4回) 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 (出席率等も含む) 発問評価 (小テスト) レポート評価 定期考査 (4回) 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 (出席率等も含む) レポート評価 定期考査 (2回)

評価の観点

a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に取り組む態度
科学技術の発展の人間生活への貢献，身近な事物・現象を通しての現代の人間生活と科学技術の関連性についての知識を身につけ，これからの科学技術と人間生活のあり方について理解する。	身近な事物・現象の中に問題を見出し，観察，実験，調査などを行って得た結果について，科学的に思考し，判断する。そこから導き出した自らの考えを的確に表現する。	身近な事物・現象に関心や探究心をもち，科学的な視点・考察力を養うとともに，科学技術に対する関心を高める態度を身につける。

令和5年度 教科シラバス

教科	保健体育	科目	体育（1年次）
単位数	3単位	レポート	4回
教科書	現代高等保健体育(大修館書店)	副教材	現代高等保健体育ノート (大修館書店)

学習目標

<p>運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。</p> <p>生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。</p>

学習内容

前期（4～9月）	後期（10～2月）
<p>（第1回レポート）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの発祥と発展 ・体のつくりと働き ・バスケットボール・体づくり運動 <p>（第2回レポート）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動・スポーツの文化的特徴 ・陸上競技・バレーボール・ダンス・体づくり運動 	<p>（第3回レポート）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動・スポーツの学び方 ・バスケットボール <p>（第4回レポート）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊かなスポーツライフの設計 ・卓球・バドミントン・体づくり運動

学習方法

デザイン・アート	キャリア週4日登校型	キャリア週1日登校型
<ul style="list-style-type: none"> ・レポートは、教科書・ルールブックを参考に、体育理論・実技に関する問題を解きながら知識を深める。 ・実技は、それぞれの時間を楽しみながら実践する。身体的・精神的に実技が困難な場合診断書を提出し認められれば、授業中の見学者用レポートで出席の代替えとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・レポートは、教科書・ルールブックを参考に、体育理論・実技に関する問題を解きながら知識を深める。 ・実技は、それぞれの時間を楽しみながら実践する。身体的・精神的に実技が困難な場合診断書を提出し認められれば、授業中の見学者用レポートで出席の代替えとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・レポートは、教科書・ルールブックを参考に、体育理論・実技に関する問題を解きながら知識を深める。 ・実技は、それぞれの時間を楽しみながら実践する。身体的・精神的に実技が困難な場合診断書を提出し認められれば、授業中の見学者用レポートで出席の代替えとする。

評価方法

デザイン・アート	キャリア週4日登校型	キャリア週1日登校型
<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度（出席率等も含む） ・実技テスト ・レポート評価 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度（出席率等も含む） ・実技テスト ・レポート評価 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度（出席率等も含む） ・実技テスト ・レポート評価

評価の観点

a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に取り組む態度
<p>運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解するとともに、目的に応じた技能を身に付けている。</p>	<p>自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。</p>	<p>運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に自主的に取り組もうとしている。</p>

令和5年度 教科シラバス

教科	保健体育	科目	保健
単位数	2単位	レポート	6回
教科書	現代高等保健体育(大修館書店)	副教材	現代高等保健体育ノート (大修館書店)

学習目標

個人及び社会生活における健康・安全について理解を深め、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を養う。

個人及び社会生活における健康・安全について理解を深め、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を養う。

学習内容

前期（4～9月）	後期（10～2月）
1 単元 現代社会と健康 2 単元 安全な社会生活	3 単元 生涯を通じる健康 4 単元 健康を支える環境づくり

学習方法

デザイン・アート	キャリア週4日登校型	キャリア週1日登校型
副教材を利用し、生徒に考えさせながら学習を進める。 1時間あたり副教材2ページのペースで進める。	副教材を利用し、生徒に考えさせながら学習を進める。 1時間あたり副教材2ページのペースで進める。	副教材を利用し、学習を進める。 1時間あたり、レポートの範囲を進める。

評価方法

デザイン・アート	キャリア週4日登校型	キャリア週1日登校型
<ul style="list-style-type: none"> 授業態度（出席率等も含む） 発問評価 レポート評価 定期考査（4回） 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度（出席率等も含む） 発問評価 レポート評価 定期考査（4回） 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度（出席率等も含む） レポート評価 定期考査（2回）

評価の観点

a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に取り組む態度
各単元において、社会的な対策が必要であること、責任が生じること、適切に行う技能を身につけなければいけないことなどを理解している。	<ul style="list-style-type: none"> 現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。 安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考えているとともに、それらを表現している。 生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。 健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 現代社会と健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。 安全な社会生活についての学習に主体的に取り組もうとしている。 生涯を通じる健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。 健康を支える環境づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。

令和5年度 教科シラバス

教科	美術	科目	美術1
単位数	2単位	レポート	6回
教科書	高等学校 美術1(光村図書)	副教材	課題に応じて参考作品などを提示する。

学習目標

絵画、デザイン、立体表現、映像表現など美術分野の基礎となる造形的な見方・考え方を働かせながら、各分野の表現や特性について、理解を深め、創意工夫しながら的確に表現するための造形的な思考力、判断力、表現力を身につける。

学習内容

各分野の表現特性を学習しながら、構想を練り、絵画、デザイン、立体物、映像などの作品制作、作品鑑賞、レポート課題を行う。内容として下記の課題を行う。

- 1、描画材の基本的な使い方
- 2、絵画表現の基本（アクリルガッシュによる絵画表現）
- 3、写真表現
- 4、立体表現の基本（立体作品の制作）
- 5、版画の基本
- 6、デザインの基本（ロゴマークの制作）
- 7、美術の歴史と作品鑑賞

学習方法

課題文を良く読み、要点を確認して課題制作を行う事。担当教諭の指導を受けながら、疑問点は質問し、作業を進めること。また制作は計画的に行い、締切は厳守すること。また、完成作品の振り返りや他者の作品の鑑賞を通して学習し、自身の成長に繋がるよう努めること。

評価方法

課題を正確に理解し、工夫して画面に表現しているか。アイディアスケッチの段階から主体的、計画的に制作しているか。時間内に制作を終了できるか、また作品を丁寧に美しく仕上げているか。アイディアスケッチ、完成作品、プレゼンテーション、レポートを基に下記の観点で評価を行う。

評価の観点

a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に取り組む態度
各分野における表現方法の基本的な造形要素の働きを制作、鑑賞を通して、理解を深めている。また、それらの機能や効果を活かして、創造的な表現を行なっている。	自分の視点やアイディアを基に構想を練り、表現方法や構成を創意工夫して、計画的に表現する。	発想や構想したことを基に造形要素の働きを意識しながら、創意工夫して表現している。美術、造形の表現に興味関心を持ち、主体的に制作や鑑賞に取り組んでいる。

令和5年度 教科シラバス

教科	芸術	科目	書道 I
単位数	2 単位	レポート	6 回
教科書	書 I (光村図書)	副教材	使用しない

学習目標

書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を育成する。

学習内容

前期 (4～9月)	後期 (10～2月)
(1)漢字の書 ・漢字の変遷と様々な書体 ・文字の造形を学ぶ (楷書) (レポート①) ・文字の造形を学ぶ (行書) ・文字の造形を学ぶ (草書・隸書・篆書) (レポート②) ・篆刻・刻字 (レポート③)	(2)仮名の書 ・仮名の成立と種類 ・文字の造形を学ぶ (仮名) (レポート④) ・作品の構成を学ぶ (仮名) ・古筆を生かした創作 (レポート⑤) (3)漢字仮名交じりの書 ・漢字仮名交じりの書で表現する ・生活の中の書 (レポート⑥)

学習方法

キャリア週 4 日登校型	キャリア週 1 日登校型
考査は行いませんが、毎時間臨書などを含めた作品の提出を求めるので、時間内に完成できるよう取り組みましょう。	考査は行いませんが、毎時間臨書などを含めた作品の提出を求めるので、時間内に完成できるよう取り組みましょう。

評価方法

キャリア週 4 日登校型	キャリア週 1 日登校型
・授業態度 (出席率等も含む) ・レポート評価 ・作品、課題等の提出	・授業態度 (出席率等も含む) ・レポート評価 ・作品、課題等の提出

評価の観点

a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に取り組む態度
書の造形や多様性などについて幅広く理解するとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に着けるようにする。	書のよさや美しさを感じ、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美の味わいを捉えたり、表現を工夫したりすることができるようにする。	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたって書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養えるようにする。

令和5年度 教科シラバス

教科	外国語	科目	English Communication I
単位数	4単位	レポート	12回
教科書	VISTA English Communication 1(三省堂)	副教材	VISTA English Communication 1 ワークブック (三省堂)

学習目標

<ul style="list-style-type: none"> ・英語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。 ・言葉・文化・民族の多様性とその共存を基本とし、国際理解の精神の育成を図る ・情報や考えなどを的確に理解し、適切に伝えるための基礎的な能力を伸ばす。

学習内容

前期（4～9月）	後期（10～2月）
<ul style="list-style-type: none"> ・ Get ready, Lesson1～Lesson3 中学校の復習・be動詞・現在進行形・過去進行形 （レポート①②③）（前期中間考査） ・ Lesson4～5 助動詞・不定詞 （レポート④⑤⑥）（前期期末考査）（前期考査） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Lesson6～Lesson8 現在完了形・受け身・関係代名詞 （レポート⑦⑧⑨）（後期中間考査） ・ Lesson9～10 名詞を修飾する分詞、関係副詞（レポート⑩⑪⑫） （後期期末考査）（後期考査）

学習方法

キャリア週4日登校型	キャリア週1日登校型
<ul style="list-style-type: none"> ・文法説明を聞き、ノートワークにまとめる。 ・習った表現を用い辞書や教材を参考にして、自己表現する。 ・教科書を読み、単語調べ、発音練習 ・本文内容理解を教師の支援のもと、進めていく。 レポート・各課のまとめとして、レポートを作成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・文法説明を聞き、ノートワークにまとめる。 ・本文内容理解を教師の支援のもと、進めていく 1時間あたり、レポートの範囲を進める。

評価方法

キャリア週4日登校型	キャリア週1日登校型
<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度・ワーク・ノート提出 ・レポート評価 ・定期考査（4回） 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度（出席率等も含む） ・レポート評価 ・定期考査（2回）

評価の観点

a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に取り組む態度
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きや特徴などの理解を深める。これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの活動において、基本的な語句や文を用いて、伝えるために必要な技能を身に付ける。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

令和5年度 教科シラバス

教科	情報	科目	情報 I
単位数	2 単位	レポート	4 回
教科書	高等学校 情報 I (第一学習社)	副教材	ポイントでマスター基礎からはじめる情報リテラシー (実教出版)

学習目標

<ol style="list-style-type: none"> 1 情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題を発見・解決する力を習得する。 2 問題の発見・解決に向けて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を習得する。 3 情報社会の発展に主体的に寄与する能力と態度を身につける

学習内容

前期 (4～9月)	後期 (10～2月)
第1章 情報社会の問題解決 (レポート①) 第2章 コミュニケーションと情報デザイン (レポート②)	第3章 コンピュータとプログラミング (レポート③) 第4章 情報通信ネットワークとデータの活用 (レポート④)

学習方法

デザイン・アート	キャリア週4日登校型	キャリア週1日登校型
教科書に沿って、情報社会で必要不可欠である事柄等を解説します。また、パソコン実習では文書作成ソフトや表計算ソフト、ペイントソフト等を活用して実習を行い、基本的なパソコン技術を学び、リテラシーを身につけていきます。	教科書に沿って、情報社会で必要不可欠である事柄等を解説します。また、パソコン実習では文書作成ソフトや表計算ソフト等を活用して実習を行い、基本的なパソコン技術を学び、リテラシーを身につけていきます。	教科書の各章のポイントに沿って、情報社会で必要不可欠である事柄等を解説します。また、パソコン実習では文書作成ソフトや表計算ソフト等を活用して実習を行い、基本的なパソコン技術を学び、リテラシーを身につけていきます。

評価方法

デザイン・アート	キャリア週4日登校型	キャリア週1日登校型
<ul style="list-style-type: none"> ・授業や実習態度 (出席率等も含む) ・レポート評価 ・定期考査(2回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業や実習態度 (出席率等も含む) ・レポート評価 ・定期考査(2回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業や実習態度 (出席率等も含む) ・レポート評価 ・定期考査(2回)

評価の観点

a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に取り組む態度
情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身に付け、社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解している。	情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために、情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえて、思考を深め、適切に判断し表現している。	情報や情報社会に関心をもち、身のまわりの問題を解決するために、自ら進んで情報及び情報技術を活用し、社会の情報化の進展に主体的に対応しようとする。

令和5年度 教科シラバス

教科	学校設定科目	科目	ベーシック（1年生）
単位数	1単位	レポート	6回
教科書		副教材	基礎力養成ドリル （実務教育出版）

学習目標

- ・「考える力」を主軸に、勉強をする意義をよく理解する。
- ・学力の底上げになるトレーニングを行い、勉強へ向かう意欲を向上させる。
- ・国語、数学、英語をなぜ学習するのか。どのように勉強したら理解がしやすくなるのかを学ぶ。
- ・自分自身の脳の働きを知る事で、長所短所を見出す。
- ・物事を多角的かつ幅広く観ることが出来る様になる為、柔軟性を持たせた学習をする。

学習内容

前期（4～9月）	後期（10～2月）
<ul style="list-style-type: none"> ・小学校高学年から中学校までの総復習に加え、スタディスキル（考える力）を身につけるトレーニングを行う。 ・基礎力養成ドリルは自宅学習とし、<u>レポート課題</u>として提出をすること（全6回）。 ・授業時にドリルの解説を行う。 <p>《基礎力養成ドリル／レポート課題範囲》</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 国語：授業時に範囲を提示 ② 数学：授業時に範囲を提示 ③ 英語：授業時に範囲を提示 	<ul style="list-style-type: none"> ・スタディスキルの向上を目指した学習を行う。 ・基礎力養成ドリルは自宅学習とし、<u>レポート課題</u>として提出をすること。 ・授業時にドリルの解説を行う。 ・11月、12月に「基礎学力テスト」を実施する。 <p>《基礎力養成ドリル／レポート課題範囲》</p> <ol style="list-style-type: none"> ④ 国語：授業時に範囲を提示 ⑤ 数学：授業時に範囲を提示 ⑥ 英語：授業時に範囲を提示

学習方法

デザイン・アート	キャリア週4日登校型	キャリア週1日登校型
	<p>小学校中頃から中学校までの総復習。ドリルはレポートとして提出するが、「調べ学習」として行い、インターネットや友人との情報共有をするなどして終わらせること。授業ごとにレポート範囲の解説を行う。年末にはドリル内容から出題される「基礎学力テスト」を実施する。</p>	<p>小学校中頃から中学校までの総復習。ドリルはレポートとして提出するが、「調べ学習」として行い、インターネットや友人との情報共有をするなどして終わらせること。授業ごとにレポート範囲の解説を行う。年末にはドリル内容から出題される「基礎学力テスト」を実施する。</p>

評価方法

デザイン・アート	キャリア週4日登校型	キャリア週1日登校型
	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度（出席率等も含む） ・追課題の提出（プリント） ・レポート評価（6回） 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度（出席率等も含む） ・追課題の提出（プリント） ・レポート評価（6回）

評価の観点

a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に取り組む態度
スタディスキルと自分の得意分野を理解し、具体的な知識を深めることができたか。	学習分野が教科を超えて繋がっており、自身にとって必要なものであると理解できたか。	課題（配布プリントやレポート）に対して、どれだけ真摯に取り組んだか。

令和5年度 教科シラバス（キャリア4日コース）

教科	総合	科目	LST（ライフスキルトレーニング）
単位数	1	レポート	当日のワークシート
教科書	なし	副教材	手作りプリント

学習目標

<p>① 一人一人が安心して気持ちよく生活できるために、互いの人権を認め合い・助け合うことができる生徒を育成する。（人とのかかわりが苦手で尻込みをしがちな生徒や、逆に迷惑な言葉をつい言ってしまう生徒も一人残らず参加できるようにする）</p> <p>② 自己理解を深め、よりよい生活習慣作りができる生徒を育成する。</p> <p>③ 将来を展望し、社会で自立して生きる力を高校在学中に身につけさせる。</p>

学習内容

前期（4～9月）	後期（10～2月）
<p>① 生徒が人とのかかわり方のきっかけづくりをする。</p> <p>② 挨拶、感謝、温かい言葉がけを身につける。</p> <p>③ 自分の気持ちを表情や声の調子で表現することができる。</p> <p>④ 他者の状況や気持ちを理解し、受け入れられる。</p> <p>⑤ 自分と他者との違いを認め合い、友達づくりを進める。</p>	<p>⑥ 他とのかかわりを通して、互いのよさを認め合い、さらに自分のよさを高めることができる。</p> <p>⑦ 学校生活のきまり・ルール理解し守ることで生活の安定を図り、場に応じた言動ができる。</p> <p>⑧ 温かい心を持ち、周囲を思いやることができ、いじめをしない人権感覚をもてる。</p>

学習方法

週4日登校型	週1日登校型
<p>① 様々なライフスキルを理解して、社会性を身に付ける。</p> <p>② 生徒同士の実習を通して、多くの他者とかわるようになる。</p>	<p>① 生徒同士の共同活動を通して、心を開放することができる。</p>

評価方法

前期	後期
<p>① 振り返り票を提出しているか。</p> <p>② 振り返り票を記入しているか。</p> <p>③ 授業に参加しているか。</p>	<p>① 振り返り票を提出しているか。</p> <p>② 振り返り票を記入しているか。</p> <p>③ 授業に参加しているか。</p>

令和5年度 教科シラバス (週1コース)

教科	総合	科目	LST (ライフスキルトレーニング)
単位数	1	レポート	当日のワークシート
教科書	なし	副教材	手作りプリント

学習目標

- | |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>① 一人一人が安心して気持ちよく生活するために、互いの人権を認め合い・助け合うことができる生徒を育成する。(人とかかわりが苦手で尻込みをしがちな生徒や、逆に迷惑な言葉をつい言ってしまう生徒も一人残らず参加できるようにする)</p> <p>② 自己理解を深め、よりよい生活習慣作りができる生徒を育成する。</p> |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

学習内容

前期 (4~9月)	後期 (10~2月)
<p>① 生徒が人とかかわり方のきっかけづくりをする。</p> <p>② 挨拶、感謝、温かい言葉がけを身につける。</p> <p>③ 自分の気持ちを表情や声の調子で表現することができる。</p>	<p>④ 他者の状況や気持ちを理解し、受け入れられる。</p> <p>⑤ 自分と他者との違いを認め合い、友達づくりを進める。</p>

学習方法

前期 (4~9月)	後期 (10~2月)
<p>① 生徒同士の共同活動を通して、心を開放することができる。</p>	<p>① 生徒同士の共同活動を通して、心を開放することができる。</p>

評価方法

前期	後期
<p>④ 振り返り票を提出しているか。</p> <p>⑤ 振り返り票を記入しているか。</p> <p>⑥ 授業に参加しているか。</p>	<p>④ 振り返り票を提出しているか。</p> <p>⑤ 振り返り票を記入しているか。</p> <p>⑥ 授業に参加しているか。</p>